

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1230号	氏名	青木 大勇
論文審査担当者	主査教授	関根 一郎	
	副査教授	松山 俊文	
	副査教授	近藤 宇史	
論文審査の結果の要旨			
<p>1. 研究目的の評価 前立腺癌の増殖機構解明のために、アンドロゲン依存性上皮増殖因子である角化細胞増殖因子(KGF)およびその受容体(KGFR)、さらに各々の mRNA の発現を前立腺非癌部と癌部で比較検討しようとした研究目的は明確で評価できる。</p>			
<p>2. 研究手段に関する評価 検索組織標本の収集と選択、KGF, KGFR の抗体作成と特異性の確認、免疫組織学検索方法など研究手段は的確であった。さらにグリソンスコア、骨転移、Ki-67、アンドロゲン受容体、内分泌療法抵抗性などのパラメータの選択とそれらとの比較検討方法は妥当であった。</p>			
<p>3. 結果・考察の評価 非癌組織で KGF 及び mRNA は前立腺間質細胞に、KGFR 及び mRNA は上皮細胞に発現していた。一方、癌組織では癌細胞に KGF, KGFR の共発現及び各々の mRNA の共発現を認めた。KGF, KGFR 共発現はグリソンスコア、骨転移、内分泌療法易抵抗性など臨床病理学的事項と関連していた。</p> <p>前立腺癌組織での KGF, KGFR の共発現はオートクライン機構により、高い増殖能や骨転移能を発揮するのではないかとした本論文は前立腺癌の増殖機構解明に大きく寄与するものであり、今後治療面での応用の可能性もあり、高く評価できる。審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			